

未来

平成20年度 予算

創生



写真：4月に新設された阿曾小学校区の学童保育



道路の修繕や改良などにも重点的に配分された

平成20年度の総社市の当初予算が決まりました。一般会計は、子育て王国総社の実現、地域主義の確立、安全安心のまちづくり、人材育成にポイントを置いた予算となりました。そして、未来創生のための出発点の予算と位置付けています。

行政改革で生み出した財源を

身近な暮らしの予算へ配分

平成20年度の予算が決まりました。一般会計の総額は231億円。平成19年度の同時期と比較すると1.9%の増加となりました。特別会計の総額は、169億3300万円、19年度の同時期と比較すると1.6%の増加。水道の公営企業会計は20億6010万円、9.3%の増です。すべての会計を合計すると420億9310万円となり、7.7%の減となっています。特別会計の総額が41億

2600万円の大幅な減少となったのは、これまでの老人保健制度に替わって4月から75歳以上の人を対象とした後期高齢者医療制度がスタートしたことによるものです。この制度は、医療費の支払い事務を岡山県後期高齢者医療連合で行うため、特別会計の予算は大幅な減となりました。なお、後期高齢者医療制度は、特別会計で運営されます。今年度も引き続き厳しい財政事情を反映した予

算です。財政の健全化に取り組むため、行政改革大綱に基づいて、財源の確保や経費の節減・合理化を進めました。そして、大型プロジェクトについては、必要性や緊急性を再検討しました。こうして生み出された財源は、小児医療費の無料化の対象年齢の引き上げのための財源として、地域の道路の修繕や市道の改良といった身近な地域の予算へ重点的に配分したりしました。今年度の公債費は、繰り上げ償還（返済）する1億4000万円を含め約34億円となりました。また、市に入ってくるお金で最も大きな割合を占める市税は、前年同時期と比べ約1億5350万円の増です。これは、企業誘致により進出した工場の建物や資産にかかる固定資産税の増収によるものです。

デ

ー

タ

平成20年度の一般会計の予算総額は231億円です。左の円グラフは、入ってくるお金の種類と額を、使われ方に別の多い順に表示しています。7ページ下の表のとおり、特別会計は、新たに後期高齢者医療特別会計が加わり、8会計となりました。道路特定財源の暫定税率分に関係する総社市の予算額は、2億9300万円。一般会計全体でみると約1.3%を占めています。

◆各会計の予算

会計名	平成20年度予算	前年との増減
●一般会計	23,100,000	440,000
●特別会計		
国民健康保険	5,300,000	-636,000
老人保健	829,000	-5,594,000
後期高齢者医療	755,000	755,000
介護保険	4,571,000	279,000
農業集落排水事業費	668,000	49,000
国民宿舎事業費	880,000	37,000
総社新南地区土地区画整理事業費	810,000	120,000
公共下水道事業費	3,120,000	864,000
小計	16,933,000	-4,126,000
●公営企業会計		
水道事業	2,005,600	176,900
工業用水道事業	54,500	-1,500
小計	2,060,100	175,400
合計	42,093,100	-3,510,600

